

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成26年6月19日(2014.6.19)

【公開番号】特開2013-174779(P2013-174779A)

【公開日】平成25年9月5日(2013.9.5)

【年通号数】公開・登録公報2013-048

【出願番号】特願2012-40056(P2012-40056)

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/00 (2006.01)

B 4 1 N 1/14 (2006.01)

G 0 3 F 7/32 (2006.01)

G 0 3 F 7/038 (2006.01)

G 0 3 F 7/027 (2006.01)

C 0 8 F 299/02 (2006.01)

C 0 8 F 290/12 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 F 7/00 5 0 3

B 4 1 N 1/14

G 0 3 F 7/32

G 0 3 F 7/038 5 0 1

G 0 3 F 7/027 5 0 2

C 0 8 F 299/02

C 0 8 F 290/12

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月2日(2014.5.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

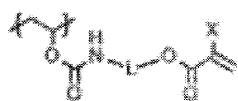
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

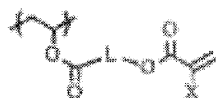
【請求項 1】

支持体上に光重合性層を有し、該光重合性層が、(A)重合性化合物、(B)重合開始剤、(C)一般式(I-c)、一般式(I-b)および一般式(I-a)で表される繰り返し単位の少なくとも1種を有するポリビニルアセタールバインダー、ならびに(D)アクリル樹脂を含むバインダーを含み、
前記(C)ポリビニルアセタールバインダーと前記(D)アクリル樹脂を含むバインダーの質量比が1:1~6:1である、平版印刷版原版。

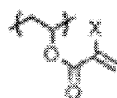
【化 1】



(I-o)



(I-b)



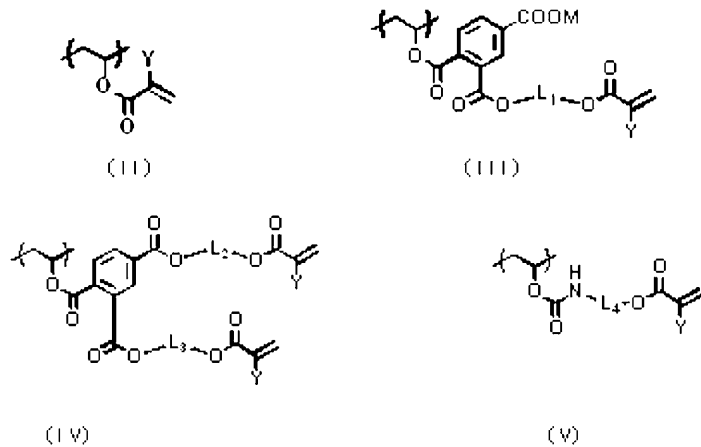
(I-a)

(上記式中、Xは、それぞれ、水素原子またはメチル基を表し、Lは、それぞれ、2価の連結基を表す。)

【請求項 2】

前記 (C) バインダーが、下記一般式 (II)、一般式 (III)、一般式 (IV) および一般式 (V) のいずれかで表される繰り返し単位の少なくとも 1 種を有するポリビニルアセタールバインダーである、請求項 1 に記載の平版印刷版原版。

【化 2】



(上記式中、Y は、それぞれ、水素原子またはメチル基を表し、M は水素原子、リチウム原子、ナトリウム原子またはカリウム原子を表し、 $L^1 \sim L^4$ は、それぞれ、置換基を有していても良いアルキル基、アルキレン基、または、アリアル基を表す。)

【請求項 3】

前記 (A) 重合性化合物が、ウレタン結合を有する請求項 1 または 2 に記載の平版印刷版原版。

【請求項 4】

前記 (A) 重合性化合物が、さらにウレア結合を有する請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の平版印刷版原版。

【請求項 5】

前記 (A) 重合性化合物が、ウレタンを結合および / またはウレア結合を有する (メタ) アクリレートである、請求項 1 または 2 に記載の平版印刷版原版。

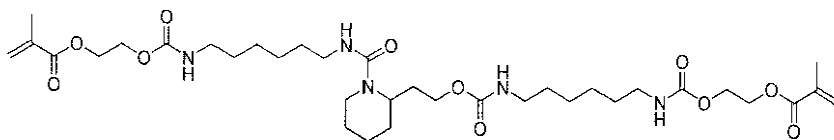
【請求項 6】

前記 (A) 重合性化合物が、多官能化合物である、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の平版印刷版原版。

【請求項 7】

前記 (A) 重合性化合物の少なくとも 1 種が下記で表される化合物である、請求項 1 または 2 に記載の平版印刷版原版。

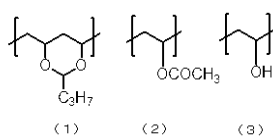
【化 3】



【請求項 8】

前記ポリビニルアセタールバインダーが、一般式 (I - c)、一般式 (I - b) および一般式 (I - a) で表される繰り返し単位の少なくとも 1 種と、下記繰り返し単位 (1) ~ (3) と、酸基を含むポリビニルアセタールバインダーである、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の平版印刷版原版。

【化 4】



【請求項 9】

請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の平版印刷版原版を、画像様に露光する工程と、露光した前記平版印刷版原版を、pH が 2 ～ 14 の現像液の存在下で、非露光部の前記感光層を除去する工程を含むことを特徴とする平版印刷版の製造方法。

【請求項 10】

前記露光工程で、露光後に前駆体を予備加熱装置内で 80 以上の温度で加熱することを特徴とする、請求項 9 に記載の平版印刷版の製造方法。

【請求項 11】

前記現像工程において、さらに界面活性剤を含有する前記現像液の存在下、非露光部の感光層と前記保護層とを同時に除去する工程を含む（但し、水洗工程を含まない）、ことを特徴とする請求項 9 または 10 に記載の平版印刷版の製造方法。

【請求項 12】

前記現像液の pH を、2.0 ～ 10.0 に制御する工程を含むことを特徴とする、請求項 9 ～ 11 のいずれか 1 項に記載の平版印刷版の製造方法。

【請求項 13】

請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の平版印刷版原版を、画像様に露光する工程と、印刷機上で印刷インキと湿し水を供給して非露光部の前記感光層を除去する工程とを含むことを特徴とする平版印刷版の製造方法。